



2023年8月10日

各位

会社名 株式会社小田原エンジニアリング
代表者 代表取締役社長 保科雅彦
(コード番号 6149 東証スタンダード市場)
問合せ先
役職・氏名 管理部次長 小泉紳一
(電話 0465-83-1122)

2023年12月期第2四半期連結累計期間の業績予想数値と実績値との差異 及び2023年12月期通期の業績予想の修正に関するお知らせ

2023年2月14日に公表いたしました2023年12月期第2四半期連結累計期間の業績予想数値と本日公表の実績値との差異及び通期の業績予想数値の修正について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2023年12月期第2四半期連結累計期間の業績予想数値と実績値との差異

(2023年1月1日～2023年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,000	700	720	500	88.05
今回発表実績(B)	7,927	1,313	1,385	993	174.79
増減額(B-A)	927	613	665	493	
増減率(%)	13.2	87.6	92.4	98.6	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年12月期第2四半期)	5,123	323	436	327	57.68

2. 2023年12月期通期の業績予想数値の修正

(2023年1月1日～2023年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	15,000	1,200	1,230	850	149.68
今回修正予想(B)	15,000	1,600	1,670	1,170	205.73
増減額(B-A)	0	400	440	320	
増減率(%)	0.0	33.3	35.8	37.6	
(ご参考)前期実績 (2022年12月期)	14,086	967	1,118	801	141.22

3. 予想数値と実績値との差異及び通期の業績予想数値修正の理由

(1) 第2四半期連結累計期間実績差異の理由

巻線機事業においては、制御機器・電気部品等の供給逼迫の影響を最小限に抑えるべく対応を続けた結果、原材料価格の高騰前に製作した従来製品の売上や、利益率の高い消耗品、予備品等が好調に推移し、一部の海外顧客向けを円建てからドル建て取引に変更したことで、原材料価格高騰分を吸収してさらに円安による利益押し上げ効果が得られたことに加え、上期に売上予定だった利益率の低い開発案件及び一部の販管費が下期にずれ込んだため、売上、利益ともに増加しました。

送風機・住設関連事業においては、送風機事業の主要顧客である工作機械・産業機械向け軸流ファンの需要が減少したことや、住設関連事業の浴室照明や全館空調システムについても伸び悩み、原材料価格の上昇を踏まえ主力の軸流ファンを中心に販売価格の値上げを実施したものの、売上、利益ともに減少しましたが、巻線機事業が好調に推移し、連結で売上、利益ともに増加しました。

また、円安の影響により連結子会社において外貨建債権債務から生じる為替差益を計上したことも利益の押し上げ要因となり、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに前回発表予想を上回りました。

(2) 通期連結業績予想の修正の理由

上期に売上予定だった利益率の低い開発案件及び一部の販管費が下期にずれ込んでいるものの、現時点の受注動向、今後の営業施策の実現性や生産活動の計画を鑑み、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに前回発表予想を上回る見込みです。

(注) 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであるため、実際の業績は今後の様々な要因によっては、予想数値と異なる場合があります。

以 上